

学校法人内丸学園
盛岡幼稚園

園報

第 252 号
(3月)
2020

子どもの育ち山あり谷あり

学校法人内丸学園 理事長 坂本 洋

令和2年の幕明けは、東京オリ-

パラ大会開催の年として賑やかな話題でしたが、早々に新型コロナウイルス感染症のまん延で、改めて危機管理体制や安心・安全環境を維持する意識向上の大切さを考えさせられることになりました。

こんな状況の中ですが、園児は日々の遊びの広がりや深まりを通して活動に一段とたくましさが見られてきました。特に年長児の成長が顕著です。

幼稚園における、年長児の存在は、育ちのモデルとして欠かせない憧れの姿で、間もなく小学校入学を迎える時期ですが、身体的にも心の育ち、立ち振る舞いも、幼児から児童への飛躍的な成長に期

待膨らむ姿になっております。

年長児のこの時期は、初期の論理的思考力が身につくといわれ、自らが進んで遊び環境へ働きかけ、遊びそのものを工夫して、子ども達自身が面白いと思う遊びを夢中にかかわることによって、思考力や認識力を発達させると言われます。

保育者としては、遊びの中で自分の思ったことや言いたいことができちんと相手に分かるよう伝えること、直観やイメージによるものだけでなく、話したいことや主張することにわけや理由があつて、結果的に自分の思いをしつかり伝える育ちを目標としております。このことは、現状の課題として

成果を上げているのですが、このところ気になる親御さんの相談が話題になっております。それは、小学校2・3年生の子どもに見られる親への反抗的態度や言動、口答え等の子どもの「中間反抗期」(機会があれば別稿記事)と言われる現象です。これまで児童発達心理学では余り聞きなれないことでしたが、このところ児童相談で多く聞かれるようになりました。

私の個人的思いですが、自分の思っていることや考えを言えることのみを育ちを極端に強調するあまりの現象ではないことを願っております。

中間反抗期は、子どもの自我が成長した証と捉えており、感情的になって頭ごなしに否定したり、怒ったりせず子どもの言うことが正しければしっかりと受け止める対応がベターです。いずれ初期の思考力や認識力もそれなりに育ち、大人の言動や言葉を客観的にとらえられるようになったころに起きる現象と言われ、外ではとても良い子なのに、親に対してはイライラ感が強く乱暴な口答えが特徴。親の留意は、4〜6歳頃から、わが子の言い分に耳を傾けてもら

える体験を丁寧に行うことが必要で、一人の人間として接してもらい自分が大切にされている自己肯定感、自尊感情の育成が、自分の考え主張力と合わせて同時に育つことが大切だと思います。

希望に満ちた小学校入学を目前にした子ども達が、その後の学校生活において学習環境の変化や友達関係等の不安や戸惑いのストレスを十分理解し軽減させ、おおらかな気持ちで見守りながら自立を支援してあげることが重要です。



1! 2! 3! 4! 心を合わせてダンス

卒業おめでとう

楽しい思い出、ありがとう！

Aクラス担任 石田 雪乃

3月になり、いよいよ卒業の日を迎えます。「早く学校に行きたい！」と嬉しそうな子や少し不安で緊張している子…。いろいろな思いを感じながら残り少ない園生活を通して思うように思います。

元氣いっぱい遊び、どんなことにも精一杯取り組む姿が印象的で、仲間と一緒に乗り越えるみんなの力を目の当たりにし、毎回驚き、感動していました。面白いことや新しいことを見つけると、「先生、見て！」「やってみたい！」と目をキラキラさせて話す姿。失敗しても何度も挑戦し、友達に優しく言葉をかけ励まし合っていた姿。ふりかえると、一人ひとりの良さがあふれた日々で、様々な経験の中で子ども達が心もからだも大きく成長してきたことを実感しています。子ども達から学びながら一緒にたくさんの初めてを経験できたこと、園生活最後の貴重な1年に担任として関わられたこと、本当



Aクラスの仲間たち

にありがたく、嬉しく思います。たくさんの思い出と共に無事に卒業を迎えることができたのも、温かく見守り支えてくださった保護者の皆様のおかげです。心から感謝申し上げます。好きなことに夢中になれる素敵なAクラスさん。これからも友達との思い出や自分らしさを大切にして頑張ってくださいと思います。ずっと応援しています。卒業おめでとう！

進級おめでとう

一人一人が主役

Bクラス担任 村松 千尋

早いもので、Bクラスになって一年。最近、朝の集まりではお当番さんに「Aクラスになったらやってみよう」とインタビューしています。「お泊り会が楽しみ！」「運動会を頑張りたい！」「お茶会をやってみよう！」など、進級の期待感や年長児への憧れを持って嬉しそうに答える子ども達は、もうすっかりお兄さんお姉さんになったのだと感じます。

2月の参観日では、劇遊び「こののたからばこ」をお家の方に見ていただきました。自分でやりたい役を決め、友達と一緒に衣装作りや表現の仕方を考えながら練習に取り組みました。セリフも一人ひとつあり、友達とのやり取りを通して個々の力を発揮できるようになった姿や、本番で楽しみながら堂々と発表する姿に成長を感じ、胸がいっぱいになりました。このお話は、お姫様が大切にしていた宝箱がなくなってしまうとこ

ろから始まります。宝箱を探す中で出会う魔法使い・人魚・忍者・お巡りさん・海賊たちに助けってもらい、そして宝箱の中に入っていた「ありがとう」の言葉で、みんなが笑顔になれる。この劇のように困ったことにぶつかった時は、クラスのみんなど助け合っているいるなことに挑戦し、そして一人一人が主役として輝けるように、と願っています。

保護者の方々には、一年間ご理解ご協力を頂き感謝しております。ありがとうございました。

もっすべんくバッチ☆

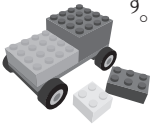
C1クラス担任 田口 千聖

3月。毎朝、登園するとシールを貼っている出席ノートも最後のページとなりました。子ども達から「ここで終わりだね。」「ここまで貼ったらピンクバッチだー」と、学年末を意識し、進級を楽しみにする声が聞こえていました。

先日、2歳児クラスが赤バッチの保育室に遊びに来るようになりました。「どんなものを用意すれば

喜ぶかなあ？」とクラスみんなで考え、マットを敷いてままごとコーナーを設定したり、ミニカーやブロック、粘土道具などを並べたりしていました。予想通り緊張した表情の2歳児さんでしたが、子ども達が用意したたくさん遊具に興味を示し、楽しんでくれました。一緒に過ごすうちに、遊びに誘ったり、上履きを履かせてあげたりする姿も…。4月新しい環境に不安がある中、年長さんが一緒に遊んでくれたり、優しくしてもらったりした経験が、子ども達の心の育ちにつながっているのだと、感激しました。

色々なことにアンテナを張って『やってみたい！』と動き出す力がある子ども達。遊びや生活の中で『できた！』と嬉しそうな笑顔をたくさん見ることができました。好きなお友達を聞くと、クラスみんなの名前を言うほど友達と仲良しになり、つながりができたことも本当に嬉しく思います。保護者の皆様の温かいご理解とご協力に感謝いたします。



たぐやの思ひ出がっつこー！

C2クラス担任 瀧山 菜保

新しい環境、お友達、先生にドキドキ、ワクワクしていた4月から早1年が経とうとしています。登園する時に初めは保護者の方から離れられなくて涙が出ていた子も、今では玄関で「行ってきます」と言えるようになったり、初めは1人での遊びを楽しんでいた子ども達も「お友達と一緒に」が楽しくて笑いが止まらなくなったり…。たくさん成長や思い出があります。黄色バッチの子も達は何かになりきることが上手な子が多く、毎日の遊びの中でもたくさん遊んでいました。私が怪獣役になり、毎日のように遊んだことも楽しい思い出です。2月の参観日には保護者の方にも子ども達の劇ごっこをお見せすることができて嬉しく感じています。

私自身も、初めて3歳児担任になり、夢中で走った1年でした。日々の保育の中で上手くいかないことや落ち込むこともありましたが、次の日に出勤すると可愛い子ども達の笑顔に癒され、保護者の

方の言葉に（勝手にですが）勇気

をもらっていました。温かく見守ってくださりありがとうございます。黄色バッチの子ども達と過ごしたことが、私にとって大切な宝物になりました。

これからの園生活も、子ども達の笑顔でたくさん輝いてほしいなと思います。そして、成長する姿を見守っていききたいと思います。

友達と一緒に！

いちごクラス担任 齋藤 由紀乃

年に一度の参観日！いちごクラスは、子ども達の好きな「いれてくやさい」の絵本を題材に、きしゃごっこの劇遊びを見ていただきました。この劇遊びでは、自分の役になりきって遊び、保育教諭と一緒に言葉のやり取りをするこ

とが楽しかったようです。緊張している表情の子もいましたが、子ども達も「大好きなお父さんお母さんに見せる」という思いで取り組んでいる姿、友達と一緒に楽しんでる姿に成長を感じました。

大人数の前で見せるのは初めてでしたが、とてもいい経験になったと思います。参観日後も、好きな遊びの時間には、子ども達から「き

しゃごっこ」をするといつて、つぼみクラスに見せたり、いろいろな役を交代しながら遊ぶ姿も見られました。

もうすぐCクラスに進級する子ども達。お兄さん、お姉さんになることに憧れもあるようです。4月から安心して新しいスタートができるように、3月に入ってからCクラスさんの部屋に行つて一緒に遊んだりすることも大切にしていきます。私自身、初めての2歳児クラスでしたが、子ども達の様々な姿をみることができて楽しかったです。子ども達の成長する姿を今後も楽しみにしながら、見守っていききたいと思います。



みんな仲良くでんしゃごっこ

参観を終えて〜保護者より

「ちゅっゅん」
いちこクラス 遠藤好(知)

保育参加では何やるの?ときくと「さついいもの〜です!!」とやたらに野太い声で自信満々に教えてくれた息子。当日は、チラチラこちらを見ながらも楽しげに過ごす姿に、つぼみさんの頃の姿を思い出し、目頭が熱くなりました。

つぼみの初めは無の境地に達したように一言も話してこない日々を過ごした息子。親としては働くことへの罪悪感を感じる日々でした。その彼が、本来のひょうきんものにどんだんなっていく姿を隠れて垣間見る度、嬉しくて仕方ありませんでした。そしてその変化は、先生方が子供の心に寄り添い、そばにいてくださる安心感から来るものだと気がつき、盛岡幼稚園にお世話になって本当に良かったと思います。

今ではお友達の話題もたくさん話してくれるようになり、関わりを楽しむまでに成長してくれました。心配した日々が笑い話になり、

成長していく姿に、もうちょっとゆつくり大きくなっていいんだよとつぶやいている私ですが、今この瞬間の子供の姿と一緒に楽しみ、寄り添ってあげたらなと思つています。幼稚園部ではどんな成長をするのでしょうか。これからもよろしくお願いします。

子供たちの成長と先生方への感謝

Bクラス 伊藤慶(澤)

去る2月14日(金)に保育参観が開催されました。毎年楽しみにしている保育参観ですが、劇や踊りを披露すると聞くと、楽しみであると同時に、ちゃんとできるかハラハラしながら当日を迎えています。今年の劇は「こころのたからばこ」。挨拶や感謝の大切さを理解することができ、Bクラスの子供たちの年齢に合った、意義深く心温まる内容でした。子供たち一人ひとりが、覚えた台詞を一生懸命大きな声で発声している姿に成長を感じ、頼もしさと感動を覚えました。また、「オニ☆ダン」で披露してくれた元気いっぱい

の歌

とダンス、その最中の子供たちの笑顔にエネルギーをもらいました。心身の成長を促す幼稚園での経験は、集団行動での規律や他者への思いやりなどを身につけることができますが、Aクラスを経て小学校へ入学していく子供たちにとって、今は特に重要な時期だと考えています。そういう時期に、力を合わせて一つのことを作り上げる姿を見ることができ、Aクラスでの成長がますます楽しみになりました。先生方には、日々子供たちの成長を支えて下さっていることに加え、目と耳と心で楽しめる保育参観を作り上げて頂いたことに改めて感謝申し上げます。



劇遊び『こころのたからばこ』

編集後記

全国で感染が拡がっている新型コロナウイルスの感染拡大防止に向け、イベントの中止や延期の要請が政府から発表されました。突如の発表に園として、今まで通り開所すること。手洗い、うがいの励行。園舎に入る前の消毒の徹底。咳エチケットに気をつけること。また行事については短縮や人数制限を行い実施すると判断しました。子ども達の安全を優先し、一日でも早い終息を願うばかりです。

令和になり、初めての卒業式を迎える準備が着々と進んでいた矢先。晴れの舞台であった「第二二回卒業式」も感染拡大防止を行っての挙行となりました。新しい世界に飛び立つ二九名の子どもの未来が明るいものでありますように。保護者の皆様にはご理解頂きましたことを深く感謝申し上げます。

学校法人 内丸学園
幼保連携型認定こども園
盛岡幼稚園
〒〇二〇〇〇二二
盛岡市中央通一六―四七
TEL 六三二―二三〇一
理事長 坂本 洋